



国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ クラブ会報

なんと

NO. 2082

URL <http://www.nanto-rc.jp>E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/金沢信用金庫福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影
写真同好会
南部勉会員

向日葵と蜂

第2142回例会 平成23年9月6日(火)晴

ガバナー公式訪問

◆点鐘 12:30 司会 税光信作 SAA

◆ソング「君ケ代」「四つのテスト」

◆ゲスト 炭谷亮一第2610地区ガバナー(金沢百万石)
岩倉舟伊智地区幹事(金沢百万石)
齊藤寿雄第4分区ガバナー補佐(高岡北)

◆ビジター池田義則君(金沢香林坊)

◆会長の時間 松井洋司会長

台風12号の被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。さて、本日は2610地区ガバナーの来訪の日です。炭谷ガバナー、齊藤ガバナー補佐、岩倉地区幹事、ようこそ、南砺RCにお越しをいただきました。会員一同、心より歓迎致します。

ガバナーには先程、会長、エレクト、幹事、副幹事と共に話し合いの時間をもち、クラブ運営全般の御指導を賜りました。今後の活動に反映させたいと思います。

先日8/24日には、「源流の会、南砺市の集い」には、ガバナー、幹事臨席をいただき親しく懇親の一時を待たました事、大変有意義でありました。改めて御礼を申し上げます。

さて、本日は炭谷ガバナーには「ロータリーの大いなる変化」を演題に卓話をお聞かせ戴けるそうです。期待を持って拝聴したいと思います。ガバナーの「熱い心」「卓越したロータリーに対する理念」の一端をお聞きし、今後の活動の指針になればと考えています。宜敷くお願い致します。

◆幹事報告 吉田 勉幹事

①ガバナー月信、ロータリーの友が届いております。

②ガバナーエレクト事務所開設のご案内。

所在地：富山市桜橋通り富山電気ビル2階 中尾哲雄GE。

③インターアクト年次大会の御礼。

④ロータリー全国囲碁大会の案内。10月22日(土)

⑤わらび学園より「園だより」拝受

◆出席報告 古瀬喜八郎委員長

会員数	9月6日出席率	8月23日の修正
53 (免除1)	81.68% (欠8)	88.46% (欠6メーク4)

メーキャップ 荒井 進君、木本修一君、澤田喜朗君、吉田 勉君

◆委員会報告

○雑誌・広報 岡部一輝委員長

「友」9月号記事の紹介。「新世代と歩む」特集

◆9月本人誕生日

9/6. 谷村信之君 14. 岡部一輝君 20. 川田義弘君
23. 西村 孝君 29. 藤田 昭君 29. 松本一哲君

◆結婚記念日

26. 北島芳信君

◆ニコニコBOX

山田英敏副委員長

炭谷ガバナー 本日ガバナー訪問させていただきます。今後ともよろしく。そしてラオスの農業プロジェクトにもご理解下さい。

岩倉地区幹事 ガバナー公式訪問に同行しました。貴クラブの例会に参加させていただきます。本年一年間ご協力宜しくお願い致します。

荒井君 《ロータリー源流の会「南砺の集い」》にて尼崎西RC中毅バスターガバナーより、14,000円のニコボックスをいただきました。

山田英君 こちらは台風の影響が少なく良かった、災害にあった皆様に心よりお見舞い申し上げます。

松井君 炭谷亮一ガバナー、岩倉舟伊智地区幹事、齊藤寿雄ガバナー補佐ようこそ南砺RCへ!!

畑山君、中田裕君、東君、吉田君、河合映君、井沢君、高野君、荒井君、古軸君、牧君、西川君、木本君 / 炭谷ガバナー、岩倉地区幹事、齊藤ガバナー補佐をお迎えして。本日はありがとうございます。

中田修君 台風一過、秋空のもとガバナー、地区幹事、第四分区ガバナー補佐をお迎えして。

北島君 炭谷ガバナーをお迎えして。記念日お祝いありがとうございます。

三吉君 台風と共に夏が去り、今日は炭谷ガバナーをお迎えするにふさわしい好い日となりました。

谷村君、松本一君、西村君 / 誕生祝い、有難うございました。

上坂君 台風は幸い北陸の富山県、石川県には被害が少なく良かったですね。今日、炭谷ガバナー、岩倉地区幹事、齊藤ガバナー補佐をお迎えして。

宮川君 炭谷ガバナーをお迎えして。台風一過、さわやかな日になりました。

藤田君 ガバナー訪問を戴いて。誕生祝い有難う。

川田君 炭谷ガバナーをお迎えしました。79歳の誕生祝いをいただきました。

岡部君 炭谷ガバナーご来訪を歓迎致します。齊藤ガバナー補佐も引き続きありがとうございます。

本日のプログラム 9月13日(火) 第2143回 新世代奉仕フォーラム

委員長 西村 孝君 担当

次回の予定 9月20日(火) 第2144回

卓話 ㈱日本抵抗器製作所社長 木村 準氏
会員 荒井 進君 担当



1月のサンディエゴの国際協議会(ガバナーエレクト研修)に出席しての感想は、全体会議の多くが、社会奉仕、国際奉仕、そして人道的奉仕のプレゼンテーションであり、更にはガバナーエレクト達よ、もっともっと奉仕活動をしなさいと鼓舞し、モチベートするものでした。ロータリーの変化に驚かされたというのが実感でした。

帰国後、私なりに検証し、ロータリーの歴史を紐解いてみると、1989年がターニングポイントではないかと考えています。1989年1月のシンガポールの規定審議会で、女性の入会が正式に認められました。

現在では、世界530地区の内、68地区が女性ガバナーです。実に13%を占めるようになりました。RIでは、2017年に全世界のロータリアンのうち、女性が30%を占めるであろうと予測しています。

では、1989年以前のロータリーはどんなだったのでしょうか。ロータリー歴30年、40年、50年のベテランロータリアンの皆さんはよくご存知だと思いますが、ロータリーは、友をつくり友情を深める場であり、紳士をつくる場、人間を磨く場、親睦の場、紳士のサロンであった。更にはフリーメースン(秘密結社)ではないかとさえ言われ、自身がロータリアンであることすら隠し、一般社会とは隔絶した存在であり、ロータリーの広報活動など思いも馳せない時代でした。一応、奉仕と親睦の二大看板を掲げていましたが、親睦が8~9割の比重を占めていたのではないかと思います。

ところが、1989年以降女性会員がどんどん増えてくると、ロータリーはどっぷり首までつかった男の世界ではなくなり、また、男性会員の安住の場ではなくなってきました。女性会員の奉仕活動への旺盛な意欲もあり、二大看板の親睦の割合が、年々小さくなり、逆に奉仕の割合が年々大きくなってきました。

1989年以降、ロータリーは次第に目標を失い、迷走しているかの様な状態に陥りました。

そこで、RIは、2007年6月に明確なビジョンを打ち出しました。

「世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織となることです。」

以上がロータリーのビジョンです。

ロータリーのビジョンは、「世界中の地域社会における人々の生活改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれ奉仕組織となることです。」以上です。

ビジョンは私たちが目指す目的地を言い表しています。そして、ここに到達する為に綿密な計画が必要となります。それが、RIの「長期計画」です。3年ごとに見直しを行い軌道修正してきました。

2009年、RIは長期計画の大幅な見直しをするため、世界の慈善分野におけるロータリーの位置づけを調べるとともに、世界中のあらゆるレベルのロータリアン14,000人以上を対象に大々的なアンケート調査を実施し、ロータリーの未来に関する意見やアイデアを収集しました。

また、世界各国でロータリアン以外の人を対象に座談会調査(フォーカスグループ)を行いました。これらの調査結果からRIとロータリー財団の進むべき進路が一致するよう改訂されて、長期計画が2010年7月に発表されました。それにより21世紀にロータリーが発展していくために、ロータリーが成すべきことが明らかになりました

長期計画の優先項目を以下の3点としました。

- ①クラブのサポートと強化
- ②人道的奉仕の重点化と増加
- ③公共イメージと認知度の向上

これら3項目は相互に関連しており、RIでは資質の優れた会員を獲得しなさい、そうすれば資質の優れたロータリアンは効果的な人道的奉仕をプランニングし実行する。その結果、ロータリーのイメージが向上し、更には他の資質の優れた人が入会を希望するようになっていきます。

未来におけるロータリーの成功のカギは以上の優先3項目を実現できるか否かにかかっており、ロータリーは地域社会に溶け込み、信頼されかつ必要とされる奉仕団体にならなくてはならない。最終的には、世界に冠たる奉仕団体を目指し、その実現のため努力しなければならないと言っています。

以上が、私が1月のサンディエゴの国際協議会の全体会議で受けたレクチャーの概要です。全くの私見ながら、RIは奉仕の第2世紀を迎え組織を導く長期的な計画の立案を始め、2001年に最初の長期計画を発表したが確固としたビジョンを構築できなかったため、試行錯誤を繰り返し、悪く言えば迷走状態に陥り、2007年のビジョンの確定と2010年における長期計画の見直しでようやく21世紀に於ける確かな進路と目標を見出したのではないかと考察しています。

(今回の会報担当 片山浩一)



ITセンター
地域学習センター(CLC)と保育園の隣接地にITセンターを建設(2008)。今期農業支援センター建設のプロジェクトに理解と支援を!



ラオスのITセンターで学ぶ研修生
(プロジェクター投影スクリーンより)